

釧路川水系河川整備計画〔変更〕（原案） に関する公聴会 議 事 録

日時：令和5年2月22日（水）18時開会
場所：釧路市交流プラザさいわい

※公述の内容を事務局にてテキスト化し、掲載しています。

※個人や特定の企業・団体名が記載されている部分は黒塗りとしています。

釧路川水系河川整備計画 [変更] (原案) への意見の公述

釧路市 内谷 雄一 氏

お晩でございます。釧路市の内谷と申します。

一月末の釧路川水系河川整備計画の変更原案の住民説明会に参加しまして、少し自分の意見を述べさせてもらったんですけども、改めて今日詳しく 15 分、時間を頂きまして話をさせて頂く機会を頂きましたので、これから 15 分宜しくお願いします。

自分の考えている事が、本会の内容とちょっとずれた所もあるかもしれないですけども、一応防災とか色々な気候変動で、役所の方の計画が変更されるっていう説明を一月の末に聞きまして、ある程度理解したつもりではおります。

今日は何をお願いしたいかと言いますと、前回は話をしましたけれども、実は釧路川で 100 km マラソン大会というカヌーの大会を 32~3 年前からやってまして、途中 2 回くらい中止があったんですけども、来年 30 回の記念大会になるんです。途中から自分は引き継いでその大会の事務局の代表として、いろんな方の協力を得たりなんかして、続けてきているんですけども、コロナがあったり天候が悪かったりという事で、中止になったりなんかもあるんですけども、自分もある程度高齢になりまして、今後この大会がどこまでやれるか心配なものですから、今回わざわざ出向いてきて話を聞いて貰うっていう事になりました。

それで気候の変動とか雨量が増えるとかっていう事で、川の防災とかという事には、こないだの説明では色々計画が変わるっていう事を説明して頂いたので、それはそれでよく理解しております。

災害そのものが何を災害として考えて貰っているのか、築堤を補修して市街地に水害がおきない様にするとか、河川を切り替えてとかっていう、その年々で環境を保護する為の治水なのか、開発するっていうか、自分達もある程度仕事を長くやっていて、農業土木やなんかの関係で河川改修の事業そのものについては、理解できているんですよ。

それで雨が降った、水がいっぱい出てきたっていう事で、ある程度安全を確保する為に出来上がっている川の施設っていうのが壊れるっていうのが、当然あってしかるべき事なんですけれども、それを直すのは、災害復旧という事になると思うんです。防災という事でいけばそれで良いかも分からないですけども、こないだも話したんですけども、環境の整備も大事だと思うんですけども、川が壊れてそこに隣接している所に畑があったり、あと市街地で堤防を越流して、市街地の方に水が流れるという事に関して、沢山この間の台風の時も災害復旧の指定区域というのが、かなり数があって、その優先順位を決められて工事や何かをしてきているんだろうと思うんですけども、今日はそういう事はそれとして、自分をお願いしたいのは、仮に川が孤立した所を流れていて、川が壊れても周りが山だったり、人災になるっていうような心配がない様な所は、災害に該当しないんだよと、そのまま放置されている所が多々あると思うんです。

自分達が大会を運営するにあたって、そういう所を放置しとくという事は、結局道路が崩壊したのと違っ

て、釧路川の場合、人の目の届かない所がいっぱいある訳です。

自分達はカヌーに乗って、趣味で乗っているだけです。遊んでいるって言われれば、それまでなんですけれども、一応、前も治水課の方にもいろいろ話を聞きに行き、カヌーで観光客を乗せて商売している人達とかは、ある程度の連絡網があったり、危険箇所が何処だっという情報が入ると思います。

役所の方も何ヶ所か危険な所は、それなりにホームページにも記載されているし、分かるように改良されていると思うんですけれども、川って何処からでも出入り出来るし、気がつかないで看板が立ってる所しか、川に下りれないんだったら、道路と同じく通行止めとか、なんかって看板を出して分かるんですけど、その途中から出て行くと突然連節ブロックが壊れたり、河床が小岩になったりしたままで放置されると、そのうち死者が出るというのは、考えられる現実としての問題だと思うんです。

それで一応、すぐ直してくれって言う訳でないんですけれども、30年やって自分もそろそろ、そういう役から手を引いてしまうつもりもあるんで、困ったもんだなという風には、そういう所がある所はどうしてもやっぱり、止めるしかないんですよ、そうなってくると釧路町、標茶町、弟子屈町の協力ももらいつつ、大会を運営してきているんですけども、どうしても何かお願いだけして辞めていかないと、このまま自然消滅とかみたいにして大会も運営できなくなるし、強いてもっと言えば、釧路の釧路川って言うのは、観光の資源として、ある程度成立していると思うんですよ。

自分らも釧路川、本州の人達にも釧路川の現状を言って、町の方にもいろんな方がお願いに行っている、町のパンフレットには必ずカヌーの写真がトップで載っていて、釧路川って割と知名度も高いし、本州の人から見れば割と憧れの川で、その一番の良い点というのは、本州の川とか他の地区の川によく行くんですけども、堰堤とか横堤とかダムとか人工物が釧路川ってないんですよ。流れが緩いって言う事もあるし、多少洪水になって溢れても湿原に溢れていくだけで、人災とか何かって言うのは無い訳では無いんですけど、ある程度なんとなく懐の大きい地区ですから、空知川が溢れた時も同じ位の雨が降っていても、釧路川の川は溢れているけれども、標茶の所でちょっと堤防が壊れるとかなんとかっていう、被害があったかも分からないんですけども、殆ど水が湿原で受け止められてきたって言う事もあるし、気候が変わって雨が降るって言う事だけではなくて、地震と雨と両方を踏まえているような計画にもなっていないと思うんです。

それで一番言いたいのは、危険な所の箇所の、危険な物だけを撤去するとか、金かけて大幅にもっと頑丈な物作れとかって言う事ではなくて、とりあえず壊れたブロックとか含銅線の切れた物を引き出したままにして置いておくと、絶対けが人とか死人が出てくると思うんですよ。だからそういう所も、災害復旧の指定箇所に取り込めるような方向で検討して貰いたいというのが、一番の自分のお願いなんですよ。但し、優先順位があって何処が壊れると物が運べないとか、畑が壊れると農作物が作れないとか、人が住んでいる所で家が壊れるとかって言うなんかよりは、優先順位は低いって言うのは分かっているんですけども、災害じゃないって言うのは、いかなものかなって言うのは自分の言いたい事なんですよ。

それでこっちの大会は、4月30日にやるんでまた書類や何かでいろいろと相談出来る事があれば、お願いしたいと思っているんですけども、今年や来年の内にどうにかなるって言う話ではないので、昨年から

指摘受けている様にその区間はパスするような形の計画で、今年もやっていくんですけど、出来れば僕らの目が黒いうちに直せるっていうような方向で進んで貰えれば、ありがたいんでないかなという事なんです。

どのような人が聴きに来ているのか分からないんですけども、もともと沢山カヌーを趣味でやっているクラブとかなんとかっていうサークルが沢山あって、ずっと相談しながらやってきているんですけど、ほとんど遊びでやっているサークルの集まりが、みんな解散してしまってやっていないんですよ。今下流部の方に連絡協議会みたいなものがあるのと、上流部に連絡協議会があっていろいろ協議してやっていると思うんですけど、そういう商売やっている人達って塘路湖から下、あと屈斜路湖から弟子屈までって感じで、弟子屈とせいぜい標茶町の開運橋の下くらいまでの空白っていうのは、あまり商売で乗っている人がいなくて、趣味で乗っている人ばかりなんですけれど、何か声を届ける手立てが昔みたいにならないんですよ。ゴミ拾いとかなんかっていう様ないろいろなボランティア活動があって出て行くんですけども、もうちょっと繋がりっていうものがあれば、ありがたいなっていう事なんです。もう時間ですんで、そういうことなんです。

あと自分も土木の仕事をしていて、今独立してやっていて、直接やっている仕事が工事屋なんですけれども、一応治水課にも結構仕事で行ってまして、石狩川とか一級河川のあちこちで、いろいろ仕事させて貰って、仕事で人が歩いていけない所をカヌーで行ったり、ボートで行ったりしている内にこんな趣味になったんですけども、何年か前に台風3つくらい来て、空知川で上富良野、中富良野とかあの辺、水害がもの凄くあった時に釧路川も本当にあの年に相当な量の洪水量というか、水があって、あんな人災にはならなかったというのは、やっぱりこの釧路川の懐の深さっていうか、いっぱい手を付ければ良いってもんではないとは思いますが、少なくとも現状維持かそれ以下にはならないような形で、仕事を進められれば良いんでないかなという風には思うんですよね。そういうことなんです。